

<b>学校名</b>	川口市立元郷小学校
<b>所在地</b>	川口市元郷6丁目2番1号
<b>電話</b>	048-222-2349

## 1 本校の概要

本校は、明治6年に創立され、親子3世代にわたって学ぶ家庭もあり、地域に根付いた伝統ある学校である。児童数は552名で、通常学級17学級、特別支援学級7学級で構成されている。昨年度より学校図書館司書(週3日)が配置され、学校図書館の環境が整備されてきている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

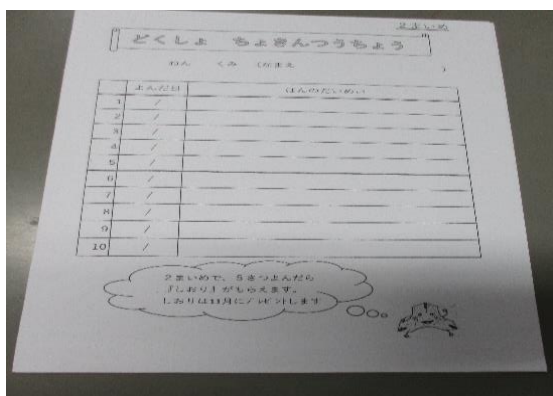
- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

### (2) 実践の概要

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、学校図書館の休み時間の利用を学年ごとに週に1回に割り当て、一度に収容する人数を15人までとした。館内では読書は不可とし、本を借りて教室で読むというルールにした。そのような状況の中、全ての児童が本に親しむ時間を作ることを目指して秋の読書月間には以下の3つの取組を行った。また、本に触る前と後の手洗いをしっかり行うことも指導し、館内の換気を徹底した。

### ア 読書ちよきん

読書量を冊数やページ数で記録し、児童の達成感へつなげた。3年生までは10冊以上、4年生以上は1000ページ以上達成した児童に、図書委員会児童から手作りのしおりをプレゼントした。



### イ 読書の木

読んだ本の題名やひとこと感想を書いた用紙を葉に見立て、クラスの読書の木に貼り付けていった。自分の読んだ本だけでなく、友達の読んだ本への興味にもつなげることができた。



### ウ 「先生からのおすすめの本」の掲示

先生方が児童に紹介したい本について書いたミニポスターを学校図書館前に掲示し、読書意欲を高めた。紹介する全ての本が学校図書館の蔵書として用意し、貸出しをできるようにした。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- 蔵書の充実、読書月間の取組、長期休業期間の貸出などにより、貸出冊数が1年前の2倍になった。

### (2) 課題

- 高学年児童の学校図書館利用が少ない。高学年児童も興味もてるような蔵書を増やす必要がある。

### (3) おわりに

今後も児童が利用したくなる学校図書館の環境整備を目指したい。児童の興味・関心のある本を増やすことに加え、児童の目に付く場所におすすめの本のポスターや新しい本に関する掲示を充実させ、来館のきっかけとなるようにしていく。